愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	石渡 靖之	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

サッカーに関する理論的な理解と実践力を養い、将来指導者を目指すための準備学習を行う。また、サッカーの基本的構造や技術から学生自身で分野を選択して調査研究を行い、その分野に関するレポートを作成する。更に、小学生向けの楽しみながら、技術を身につけられる基礎的なトレーニングメニューを考案し、指導案を作成するとともに、その考案したトレーニングメニューの動画を作成し、プレゼン発表を行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	理論的な学習内容に関しては講義形式で行う。学生の選択した分野に関する調査研究に関しては実習形式を用いる。また、トレーニングメニューの動画作成では、原則として個人で作成し編集等を行うが、実技の部分は、グループワークを採り入れて行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション（１）	受講に関する注意 授業の進め方について サッカーキッズ（U8/U10）指導ガイドラインについて	□
第2回	調査研究 指導案作成	初心者のキッズ指導を行うための指導案の作成 キッズ指導のポイントから、各自で選択した指導内容に関するキッズ初心者用の指導案を作成する。その指導案に基づき、レッスン動画撮影のシナリオを作成する。	□
第3回	模擬実践の準備（１）	指導案に基づき、グループワークでレッスン動画を撮影する。撮影した動画は、自身で編集し、プレゼン発表の準備を行う。	□
第4回	模擬実践の準備（２）	指導案に基づき、グループワークでレッスン動画を撮影する。撮影した動画は、自身で編集し、プレゼン発表の準備を行う。	□
第5回	プレゼン発表（１）	学生自身で作成したレッスン動画の発表を行う。	□
第6回	プレゼン発表（２）	学生自身で作成したレッスン動画の発表を行う。	□
第7回	健康実践演習指導（１）	各学生が作成したレッスン動画を１年生に提示し、レッスン指導を行う。（Aグループ学生指導）	□
第8回	健康実践演習指導（２）	各学生が作成したレッスン動画を１年生に提示し、レッスン指導を行う。（Bグループ学生指導）	□
第9回	サッカーの基本構造について	サッカーにおける基本構造について学ぶ 攻撃と守備のフェーズ（ゾーン別） サッカーの４局面について セットプレー	□
第10回	指導案について	前時に学習した内容に基づき、小学生（U12)を対象にしたサッカートレーニング指導案を作成する。	□
第11回	指導案の作成	前時に学習したサッカーにおける基本構造から示すテーマ（トピック）から選択したテーマについて調査研究を行い、その指導を実践するための指導案を作成する。	□
第12回	プレゼン発表準備	指導案に基づき、プレゼン発表準備を行う。なお、各自で工夫して動画を挿入したプレゼン資料を作成する。	□
第13回	指導内容発表（１）	学生自身が調査研究し、取りまとめた指導案と発表資料を使ってプレゼン発表を行う。 なお、発表者以外の学生は、発表者の発表内容について発表内容メモを作成する。	□

第14回	指導内容発表（２）	学生自身が調査研究し、取りまとめた指導案と発表資料を使ってプレゼン発表を行う。 なお、発表者以外の学生は、発表者の発表内容について発表内容メモを作成する。	□
第15回	後期のまとめ	演習全体の振り返りを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習としてサッカーの技術、戦術・理論ならびにコーチングの指導実践に関わる文献、動画等を活用して学習する。（毎回２時間）、事後学習としては講義に関連して自分の研究テーマに基づく学習を文献その他を参照しながら進め、最終的には動画とプレゼン発表資料にまとめる。（毎回2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業で課題を共有するとともに、授業メモを毎時間に提出してもらい、自身の研究ならびに個人の課題等をフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	専門種目であるサッカーについて幅広い知識を習得しながら、当該スポーツ競技における技術を習得するための深い専門性を身につけて、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	専門的知識と自らの経験を基に、創造的に思考し、自ら設定したテーマ及び課題に対して必要かつ的確に判断して著作し、表現できる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	主体的に考え、判断し学生自身で計画を立案しながら、他者と協働して設定したテーマや課題を解決し、著作物を作成することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

学生が作成した発表資料、制作した動画及びシナリオ等の著作物（５０％）
２回のプレゼン発表（２０点）
毎授業で提出する授業メモ及び最終授業で提出を課すレポート（３０％）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	勝田　隆　『知的コーチングのすすめ』（大修館書店）	978-4-469-26501-9
2	（公財）日本サッカー協会　キッズ（U8/U10）ハンドブック	
3	その他適宜提示ならびに配付	
4		
5		